

松島湾水深棒の平均水面と気圧による水位偏差について

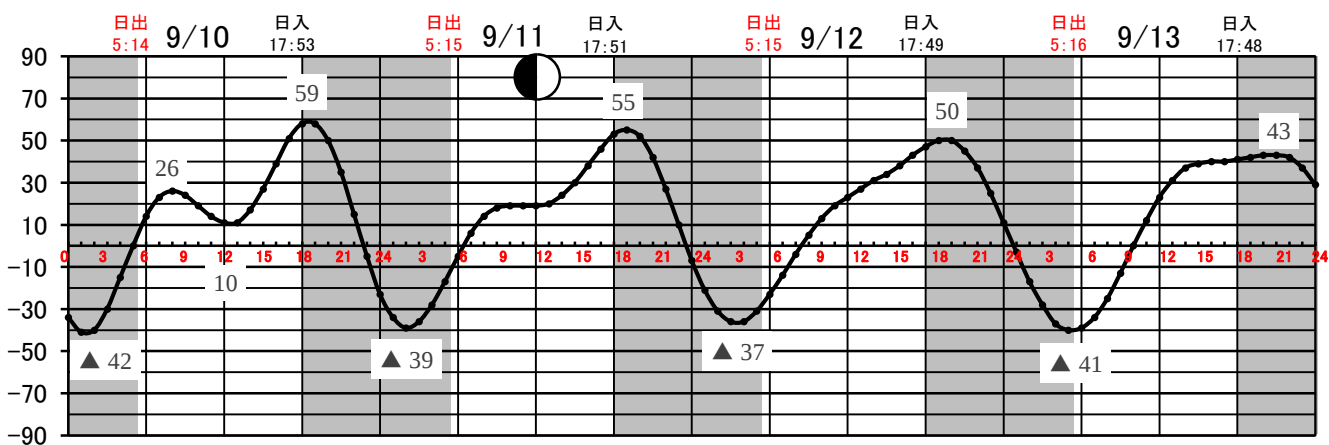
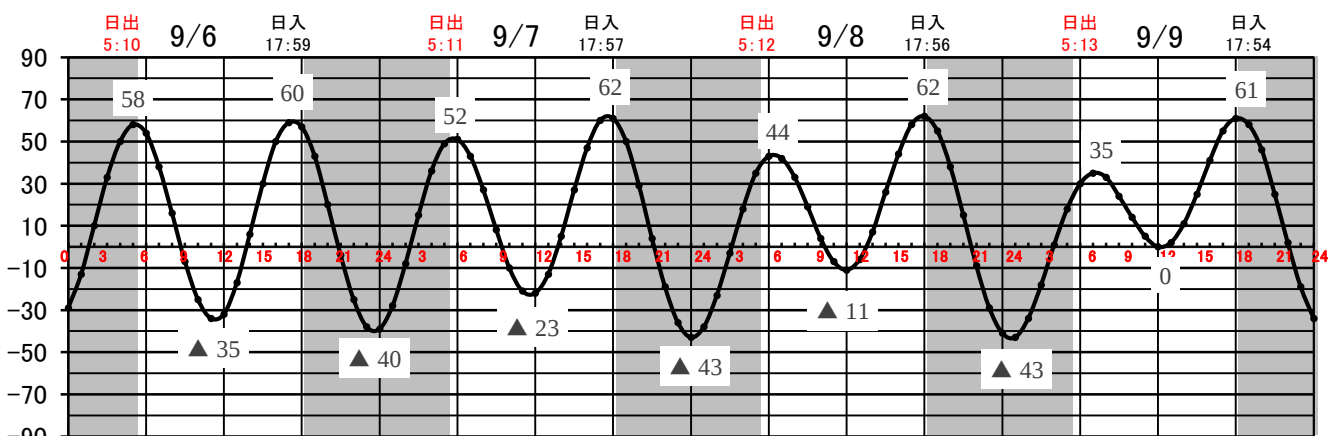
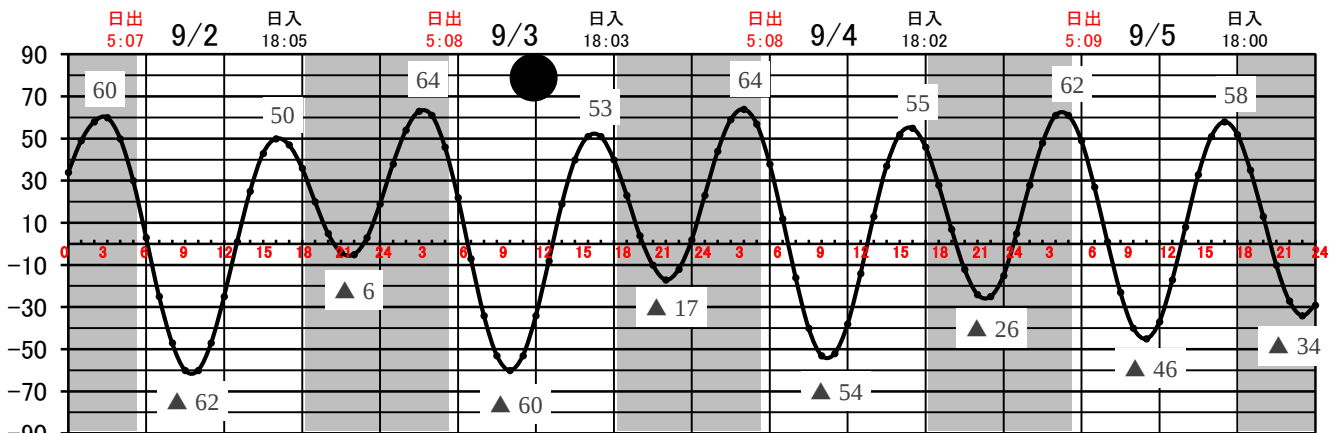
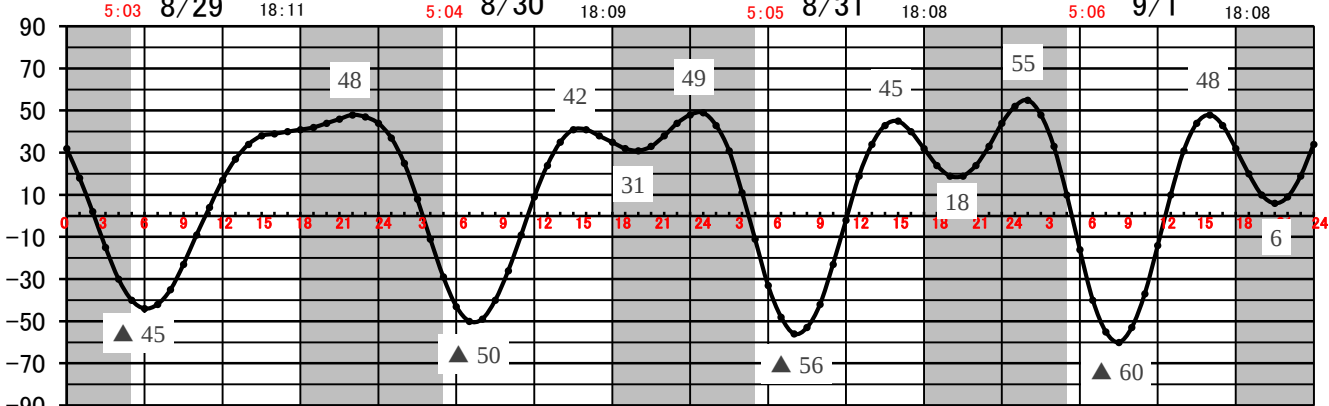
- ・令和6年5月22日～6月24日に(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所のご協力により、松島湾の水深棒No.2に潮位計を取り付け、データを解析したところ、平均水面は現在の基準目盛りから－8.0cmにあることが確認されました。このため、今漁期は138cm基準を平均水面とし、0cm基準の目盛りは138cmにあわせて調整します(昨年度は、146cm基準と0cm基準の2つの目盛りがあった)。
- ・令和元年度の解析の結果から、気圧やセイシュ(副振動)の影響により、天文潮位と実測水位のズレ(偏差)が生じることが明らかとなりました。種網を張り込む前に、定期的に水深棒の水位を調べ、天文潮位からのズレと気圧の関係を把握する必要があります。
- ・事前に日時、水深棒の水位を記録し、天文潮位とのズレを確認して下さい(1時間毎の天文潮位はP30～37を参照下さい)。
- ・気象庁HP(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)のアメダスから、当該日時の仙台の気圧(海面気圧)を調べ、基準気圧(1013hPa)との気圧の差を確認して下さい。1hPaの差で海面水位が1cm変化します。

(気圧差) = $1013 - (\text{仙台海面気圧}) > 0$ の場合、気圧差の分、天文潮位より水位が上がります。
(気圧差) = $1013 - (\text{仙台海面気圧}) < 0$ の場合、気圧差の分、天文潮位より水位が下がります。
- ・ただし、セイシュ(副振動)の影響は予測できないので、気圧差を考慮しても天文潮位からのズレは生じます。
- ・種網の張り込み水位は、それまでの気圧差の影響によるズレを把握し、張り込み後の天気予報を参考にしながら、調整して下さい。

令和6年度 仙台新港 潮汐グラフ① (平均水面 0cm)

潮位

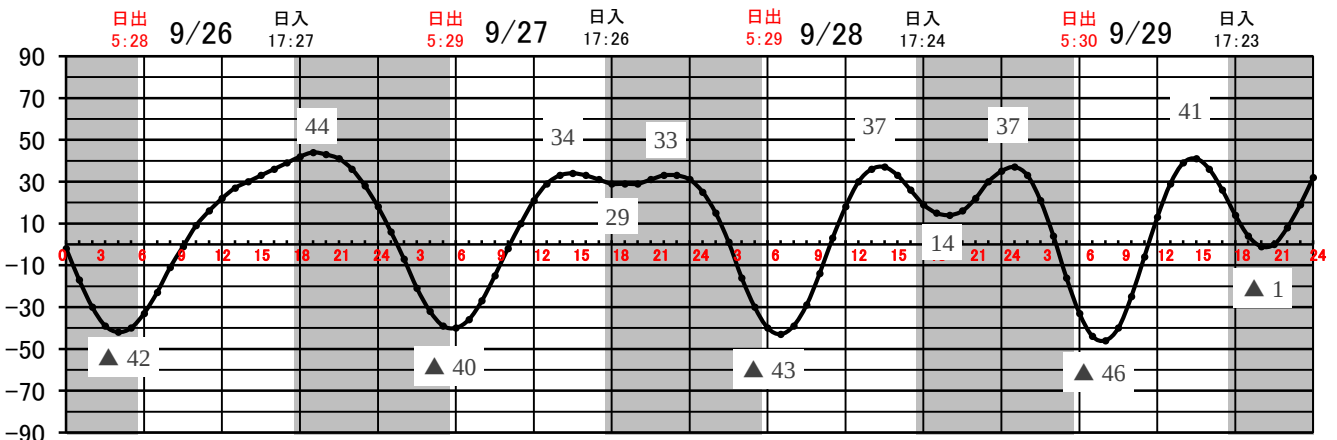
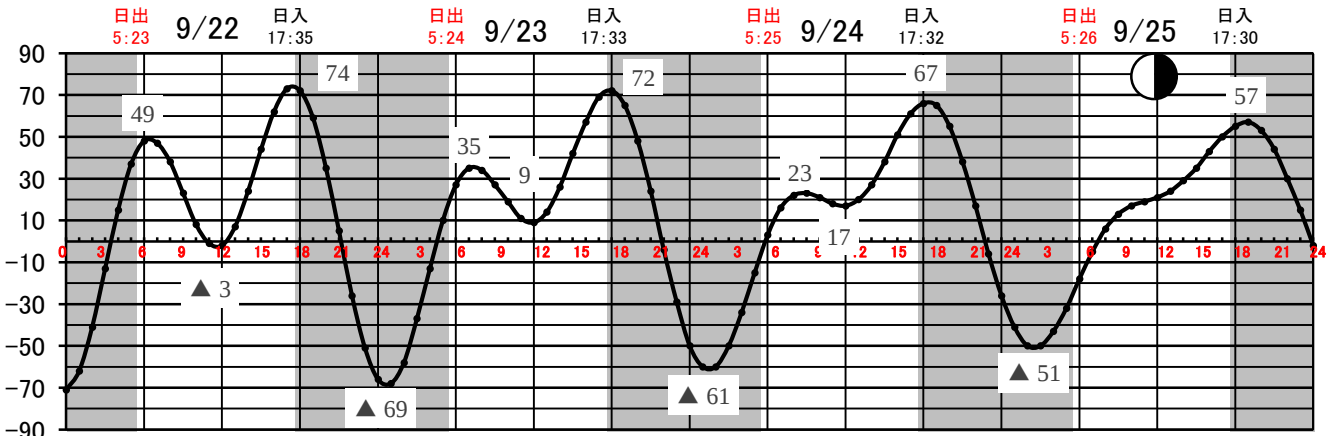
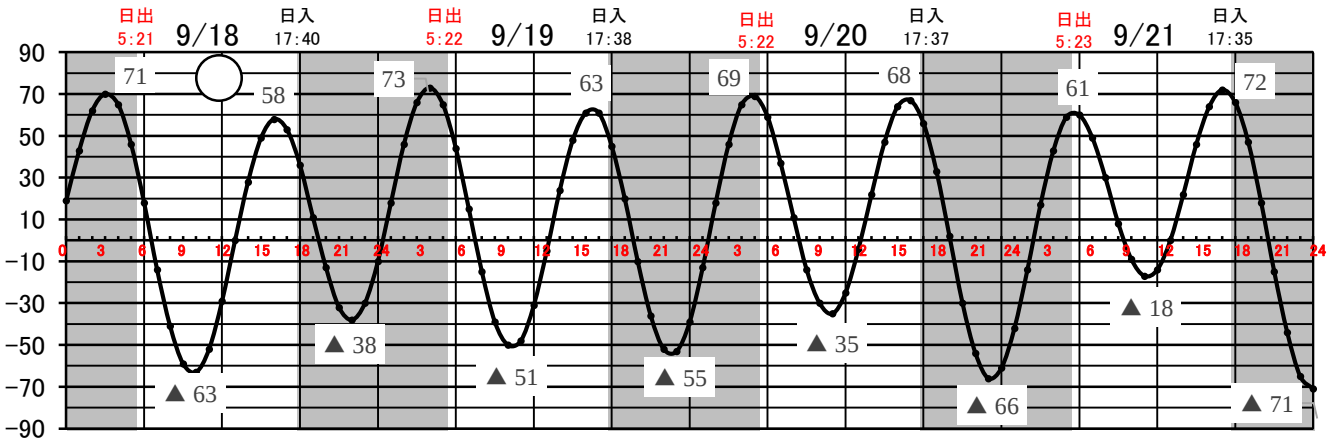
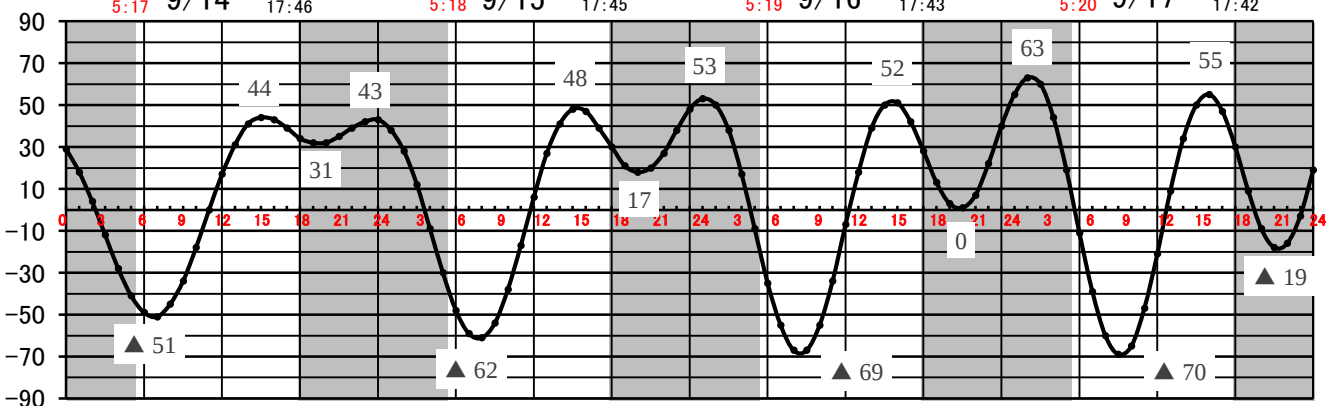
(cm)



令和6年度 仙台新港 潮汐グラフ② (平均水面 0cm)

潮位

(cm)



令和6年度 仙台新港 潮汐グラフ③ (平均水面 0cm)

潮位

(cm)

日出 5:31 9/30

日入 17:21

日出 5:32 10/1

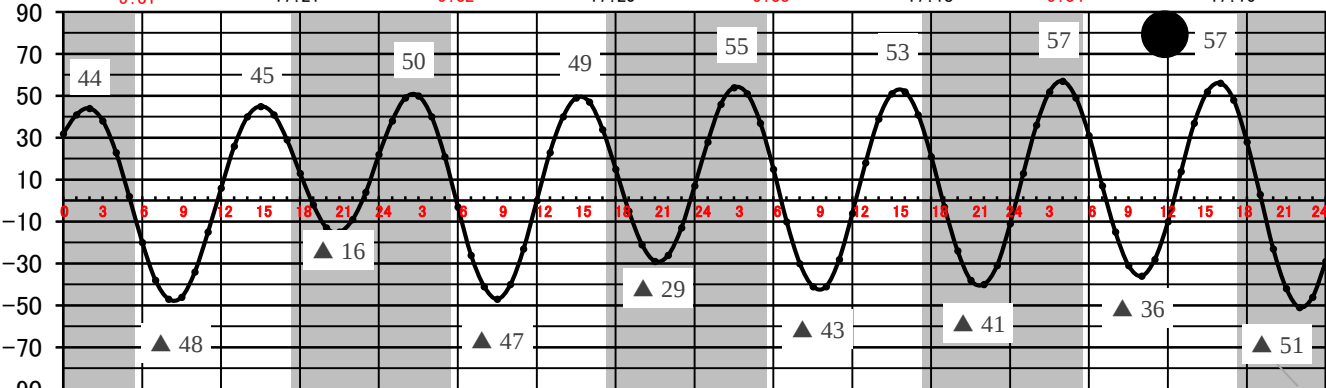
日入 17:20

日出 5:33 10/2

日入 17:18

日出 5:34 10/3

日入 17:16



日出 5:35 10/4

日入 17:15

日出 5:36 10/5

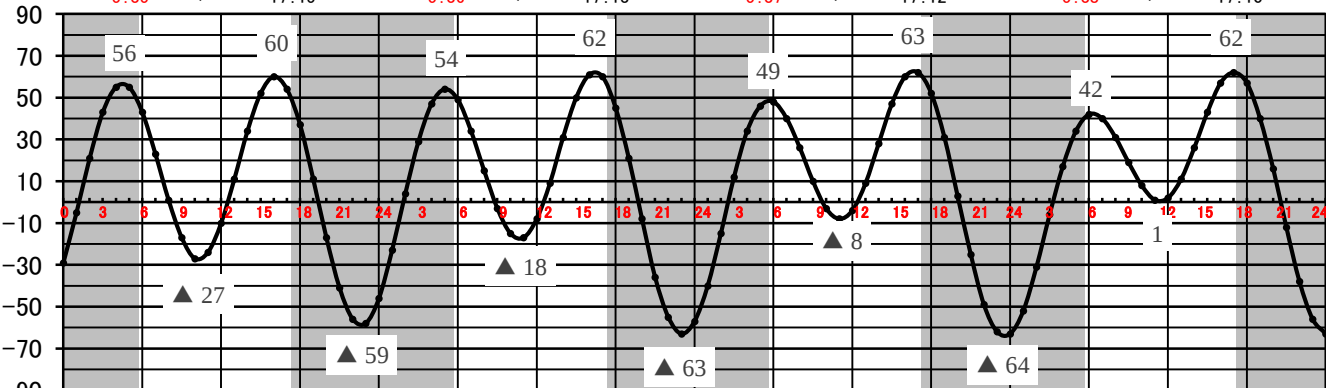
日入 17:13

日出 5:37 10/6

日入 17:12

日出 5:38 10/7

日入 17:10



日出 5:39 10/8

日入 17:09

日出 5:39 10/9

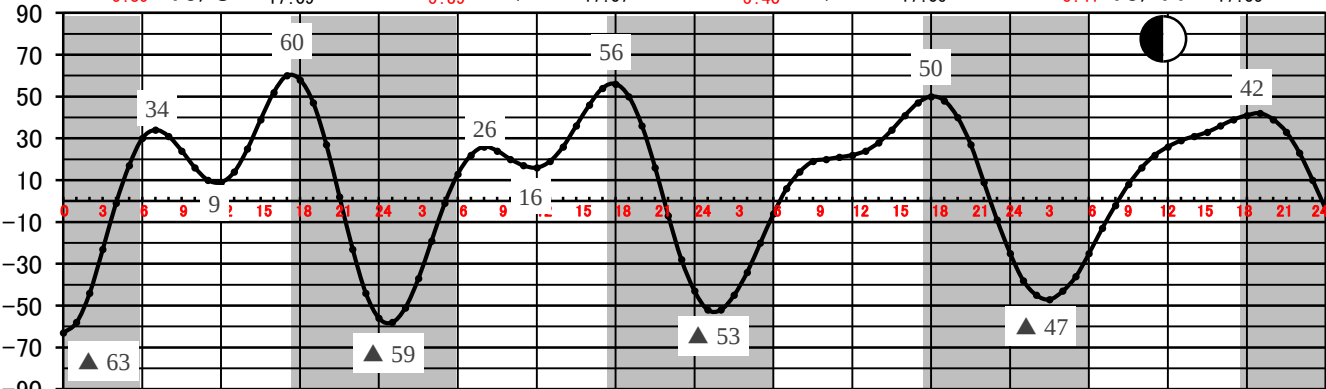
日入 17:07

日出 5:40 10/10

日入 17:06

日出 5:41 10/11

日入 17:05



日出 5:42 10/12

日入 17:03

日出 5:43 10/13

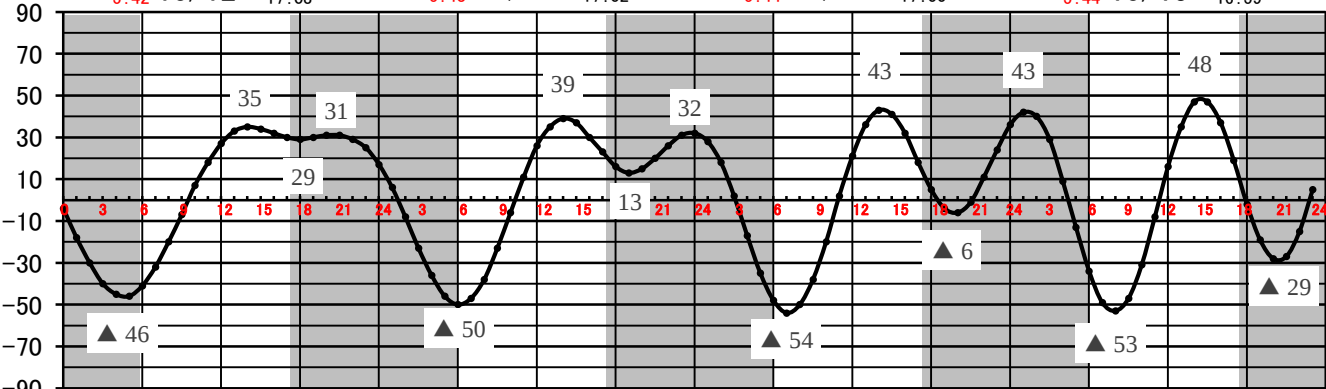
日入 17:02

日出 5:44 10/14

日入 17:00

日出 5:44 10/15

日入 16:59



令和6年度 仙台新港 潮汐グラフ④ (平均水面 0cm)

潮位
(cm)

